

10月の米CPIは市場予想を下回り米国市場は大幅高

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

2 営業日続落

昨日の東京市場では、日経平均は前日比▼270円(▼0.9%)の2万7446円と2営業日続落で終えた。業種別ではパルプ(前日比+1.4%)、食料(同+0.6%)、銀行(同+0.5%)が上昇率の上位、ゴム(▼3.9%)、石油(同▼2.2%)、輸送用機器(同▼1.7%)が下位であった。個別銘柄では、22.3期通期予想の上方修正を発表したフジクラが前日比+17.0%の大幅高となり、通期の純利益予想の上方修正と自社株買いを発表した鹿島(前日比+6.9%)、通期の純利益予想の上方修正を発表した川崎重工(同+5.2%)が高い。一方で、決算が嫌気されたホンダ(前日比▼4.0%)や神戸製鋼所(同▼7.5%)、クボタ(同▼7.0%)などが安い。ホンダは円安の追い風がありながらも、半導体や部材不足が自動車の生産にマイナスの影響を与えた。

CPIの伸び鈍化が好感されて大幅高

現地10日の米国市場では、発表された10月の米CPIが前年同月比+7.7%と市場予想を下回り、インフレのピークアウト感が台頭したことが好感されて、NYダウは前日比+1201ドル(+3.6%)の3万3715ドル、ナスダックも同+760ポイント(+7.3%)の1万1114ポイントと大幅高で終えた。個別銘柄では、エヌビディア(同+14.3%)、AMD(同+14.2%)、アプライドマテリアルズ(同+11.0%)といった半導体関連銘柄が大幅上昇となり、SOX指数は前日比+10.2%の大幅高で終えた。アルファベット(前日比+7.5%)、メタ(同+10.2%)、アップル(同+8.8%)、アマゾン(+12.1%)、マイクロソフト(同+8.2%)といった大手IT銘柄が買われ、テスラ(前日比+7.3%)も高い。WTI原油先物は前日比+0.7%の86.47ドル、米10年債利回りは同▼0.27%の3.81%で終えた。

今日の予定

現地10日のシカゴ日経平均先物は、大証比+545円の2万7975円で終了、今朝のドル円は1ドル140.70円程度(6時20分現在)で推移している。今日は、国内では特別清算指数(SQ)算出、決算関連では日本郵政、オリンパス、住友不動産、ソフトバンクグループ、東芝が決算発表を控えている。海外では、11月の米消費者態度指数(速報値、ミシガン大学調べ)の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/11/10 現在

日経平均	2万7446円
プライム売買代金	3兆812億円
プライム時価総額	695兆757億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

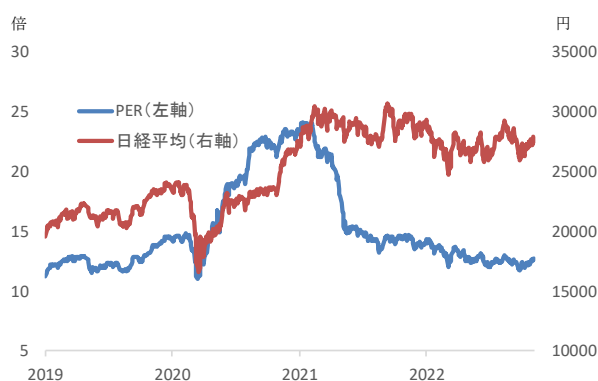
国内株式売買代金ランキング

2022/11/10 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	0.2%
2 ソフトバンクグループ	▼2.6%
3 任天堂	▼0.4%
4 東京エレクトロン	▼1.0%
5 トヨタ	▼1.5%
6 川崎汽船	▼0.8%
7 ファーストリテイリング	▼1.0%
8 ホンダ	▼4.0%
9 ソニーグループ	▼1.5%
10 三菱商事	1.3%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa